

平成30年度認知症施策に関する
東海北陸厚生局管内各県ブロック会議

資料 1 -3



東浦町認知症初期集中支援チーム
活動報告

社会福祉法人 東浦町社会福祉協議会
東浦町高齢者相談支援センター

センター長 高見 靖雄

検索 愛知県高齢者虐待対応マニュアル映像版

1. はじめに（東浦町高齢者相談支援センターの紹介）
2. 地域包括支援センターにおける認知症初期集中支援チームの位置づけ
3. フレイルチェック（介護予防・積極的総合相談）
4. 東浦町認知症初期集中支援チーム（映像 約5分）
5. 事例紹介
6. まとめ（地域共生社会を目指して）

1. はじめに

東浦町高齢者相談支援センターの紹介

東 浦 町



徳川家康公の生母
於大(おだい)の方



愛知県

知多半島



名古屋市

東浦町

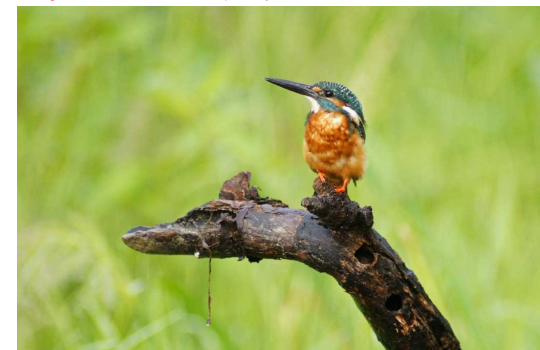


巨峰

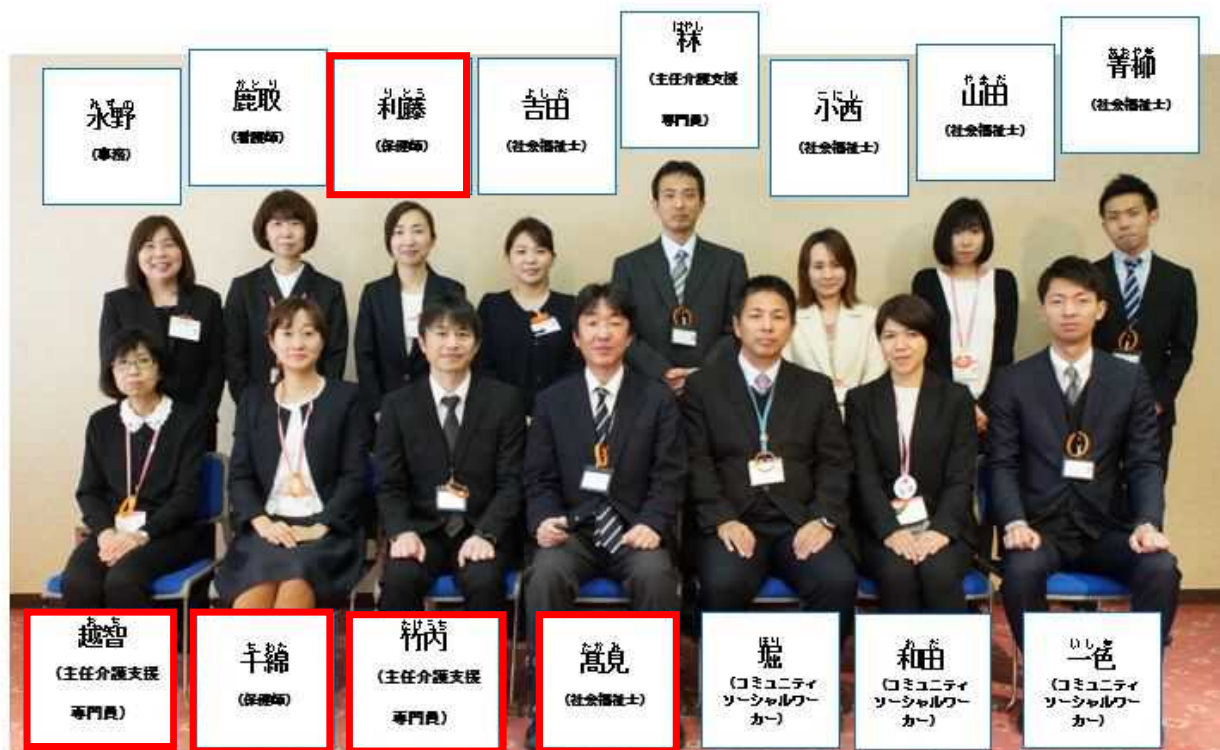
人口 50,283人
65歳以上 12,572人
高齢化率 25.0%
(平成30年4月1日現在)



カワセミ



東浦町高齢者相談支援センター

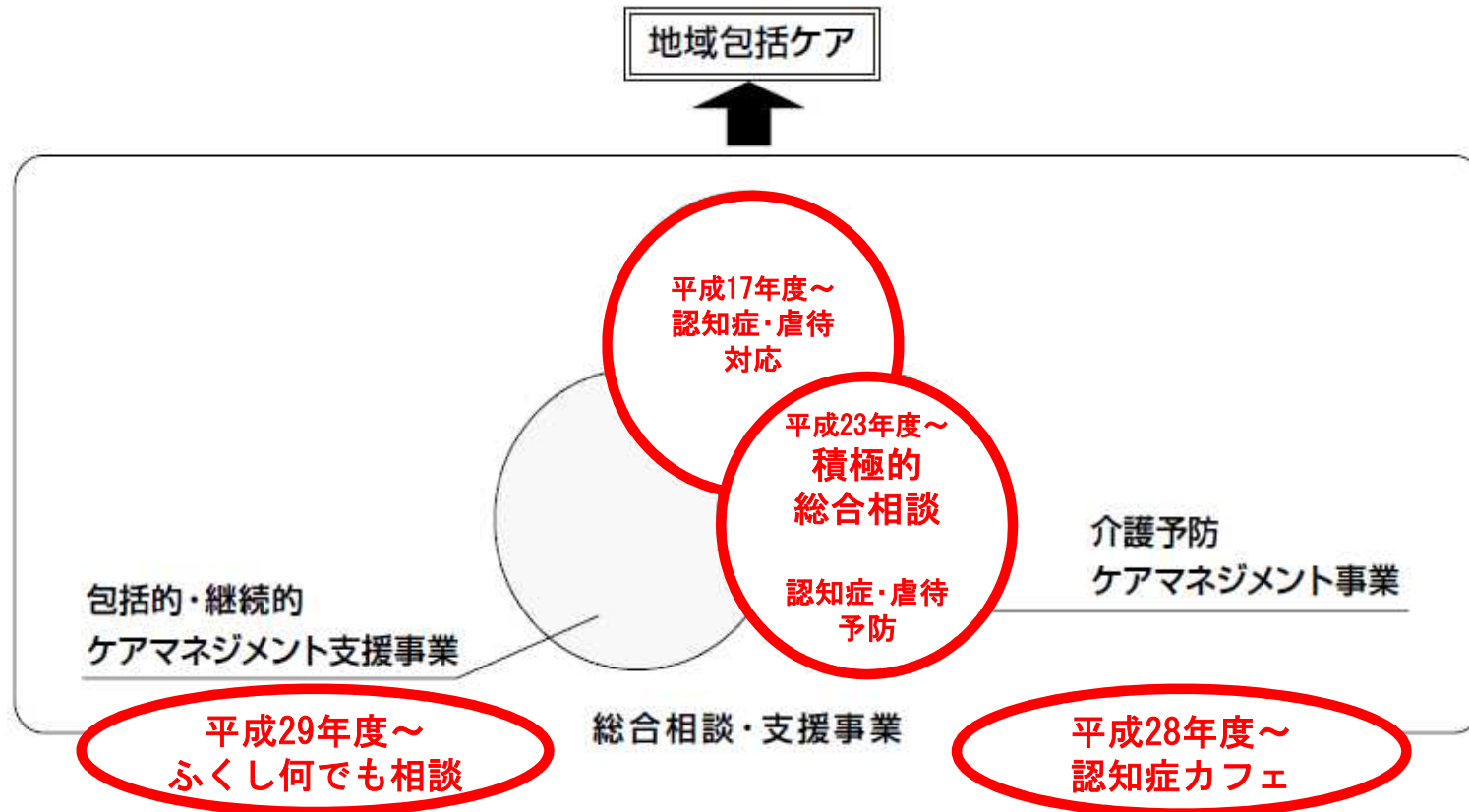


保健師・看護師	3名
主任介護支援専門員	3名
社会福祉士	5名
CSW	3名
事務員	1名
合計	15名

専門職員の常勤換算 13.3名
 (国の目安では専門職員 6.5名)
 * 認知症地域支援推進員、**認知症初期
 集中支援チーム員**、CSW含む

2. 地域包括支援センターにおける 認知症初期集中支援チームの位置づけ

東浦町高齢者相談支援センターの業務概念図



平成27年度～認知症地域支援推進員

平成28年度～認知症初期集中支援チーム

平成29年度～CSW・生活支援コーディネーター

平成29年度～フレイルチェック

3. フレイルチェック (介護予防・積極的総合相談)

フレイルチェック

フレイルとは？

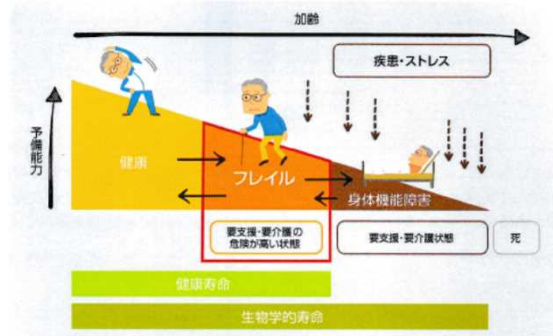
フレイルは、加齢に伴い筋力などのからだの機能や生理的な機能が低下して、心身ともに活力が低下した状態です。

加齢に伴ってからだの運動機能や生理的な機能が低下して、活動が低下した状態を「フレイル」と呼びます。多くの高齢者がフレイルの段階を経て要介護状態になることがわかっています。

現在、日本人の「平均寿命」は男女ともに世界最高水準ですが、自立した日常生活ができる期間を意味する「健康寿命」は、平均寿命に比べ男性で9.02歳、女性では12.40歳も短くなっています[※]。健やかな老後を過ごすためには、フレイルを防ぎ健康寿命をできる限り延ばすことが大切です。

※厚生労働省「厚生科学審議会地域保健健康増進委員会資料」(平成26年10月)
平均寿命は厚生労働省「平成25年簡易生命表」
健康寿命は厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

●フレイルの概念 — 要支援・要介護の危険が高い状態



穂谷雅文：日本老年医学会雑誌 46(4)：279-285, 2009—部改変

フレイルかどうか確かめるには？

まずは自分自身でフレイルをチェック！

下記の5つの質問に答えることで、フレイルかどうかをチェックすることができます。

5つの質問のうち3つ以上に当てはまる場合は、すでにフレイルの可能性ががあります。また、1~2つに当てはまる場合でも、フレイル予備軍の「プレフレイル」が疑われます。

まずは、あなたのからだの状態をチェックしてみましょう！

フレイルのセルフチェックシート

	1点	0点
●6か月間で2~3kgの体重減少がありましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
●以前に比べて歩く速度が遅くなって来たと思いませんか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
●ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか？	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
●5分前のことが思い出せますか？	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
●(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがありましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

いくつ当てはまりましたか？
各項目1点(最高5点)で、
1~2点で「プレフレイル(フレイル予備軍)」
3点以上で「フレイル」
となります。

介護保険の要介護・要支援認定を受けていない75才以上の高齢者に郵送にて実施。フレイルと判定された高齢者には対面にて基本チェックリストを実施。

フレイルチェック

※フレイルチェックは、75歳以上の方を対象にお送りしています。

フレイルチェック

◎下記の質問に対し、はい いいえ どちらかに○をお付けください。

記入日 年 月 日

1) 6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと感じますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 5分前のことが思い出せますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがありましたか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 電話番号の記入をお願いします。 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(左づめで記入してください)

基本チェックリスト

基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (1=該当)		
1	バスや電車で1人で外出していますか	0 はい	1 いいえ	10項目以上該当
2	日用品の買い物をしていますか	0 はい	1 いいえ	
3	預貯金の出し入れをしていますか	0 はい	1 いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0 はい	1 いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0 はい	1 いいえ	
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0 はい	1 いいえ	運動3項目以上該当
7	椅子に座った状態からなにもつかまらずに立ち上がっていますか	0 はい	1 いいえ	
8	15分位続けて歩いていますか	0 はい	1 いいえ	
9	この1年間に転んだことがありますか	1 はい	0 いいえ	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1 はい	0 いいえ	栄養2項目に該当
11	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい	0 いいえ	
12	身長 cm 体重 kg (BMI=) BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	1 18.5未満	0 18.5以上	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい	0 いいえ	口腔2項目以上該当
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい	0 いいえ	
15	口の渇きが気になりますか	1 はい	0 いいえ	閉じこもりNo.16に該当
16	週に1回以上は外出していますか	0 はい	1 いいえ	
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1 はい	0 いいえ	
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1 はい	0 いいえ	認知機能1項目以上該当
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0 はい	1 いいえ	
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1 はい	0 いいえ	うつ2項目以上該当
21	毎日の生活に充実感がない	1 はい	0 いいえ	
22	これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1 はい	0 いいえ	
23	以前は楽にできていたことが今ではおっくりに感じられる	1 はい	0 いいえ	
24	自分が役に立つ人間だと思えない	1 はい	0 いいえ	
25	わけもなく疲れたような感じがする	1 はい	0 いいえ	

**4. 東浦町認知症初期集中支援チーム
(映像 約5分)**

東浦町認知症初期集中支援チーム（映像） 東海テレビ「スイッチ！」



東浦町認知症初期集中支援チーム員会議



チーム員：認知症サポート医 1名（サポート医 4名の内から輪番制で 1名）
保健師 2名、社会福祉士・精神保健福祉士 3名・行政職員 1名
開催頻度：月 1回（新規 2ケースとモニタリング 全体で 1時間 30分程度）

地域アセスメント（住宅地図）



5. 事例紹介

利用者情報

氏名：Aさん 年齢：79歳 性別：男性

要介護認定：申請なし

障害高齢者の日常生活自立度：J1

認知症高齢者の日常生活自立度：Ⅱa

家族構成：妻、長女夫婦の4人暮らし

介入方法

- フレイルチェックの結果、「フレイル」と判定。
- 保健センターから送られた書類を持って本人と妻が地域包括支援センターに来所。

本人の状況

- 元々、穏やかな人であったが3年程前から、怒りっぽくなった。
- 探し物が増えた。
- 曾孫がうるさいとイライラして、頬をつねったり、頭を叩いたりする。

介入時のアセスメント結果

- フレイルチェック : 3 / 5 (もの忘れ非該当)
- 基本チェックリスト : 9 / 25 (もの忘れ該当)
- D A S C - 2 1 : 3 3 / 8 4
- D B D 1 3 : 1 4 / 5 2
- Z a r i t : 9 / 3 2
- M M S E : 2 4 / 3 0

支援経過

- かかりつけ医に情報提供。認知症疾患医療センターを紹介され、認知機能の検査を受けた。
- 曾孫の件は保健センターへ情報提供。



- 当初、更年期障害の可能性もあると言われていたが、検査の結果、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症の診断を受けた。

現在の状況（6ヶ月後）

- 介護保険は未申請、未利用。
- 毎週、夫婦で認知症カフェを利用。
- 認知症カフェ利用時、状況確認、相談等を受けている。
- 認知症については、かかりつけ医にてフォロー中。



認知症初期集中支援チームの介入後、本人のDASC-21、DBD13は変わりなかったが、妻（介護者）のZarit（介護負担尺度）は9／32→5／32と軽減された。

認知症カフェ



平成28年5月にオープン 毎週水曜日（10時～11時30分）開催
認知症地域支援推進員、社会福祉士などの専門職が個別相談にも対応

6. まとめ（地域共生社会を目指して）

● 地域共生社会

生活困窮・雇用・教育・保健・制度の狭間・
自殺対策・児童・障害・高齢・多文化共生等

● 地域包括ケアシステム

医療・介護・予防・生活支援・住まい

- 地域包括支援センター事業
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 認知症総合支援事業
- 生活支援体制整備事業
- 地域ケア会議推進事業

終わり



カワセミ（東浦町）
ご清聴、ありがとうございました